

# プラスチックの削減に取り組みましょう!

毎年、最大で1200万トンに上るプラスチックが世界の海洋に流入し、2000年以降、量は約10倍に増え続けています。プラスチックは砕けて、マイクロプラスチックと呼ばれる細かい粒子となり、環境中に残存し続けます。

海の生物は、プラスチックを餌と間違えて食べてしまったり、破棄された漁網に絡まって死んだり怪我を負うなど、深刻な影響を受けています。また、プラスチックに含まれる有害な化学物質が野生生物や人体に与える影響も心配です。

プラスチック製品の削減に取り組むことが重要です。(T・A)

## 「プラスチックの削減ができるもの」

行動	削減できるもの
使わない	レジ袋、ストロー、プラ袋入りのおしぼり、スポンジ、ナイロン・アクリルたわし (すり減った破片が川に流れるため)
買わない	ペットボトル飲料、使い捨て弁当容器

## 「世界の規制と対策」

レジ袋、ペットボトル、食品プラ容器の削減・廃止、給水器(ペットボトル削減のため事業所等に設置)  
※バイオマス素材への転換、コンポスト、デポジット製、量り売り導入等、持続可能な開発目標を推進

## 収集業者さんから



私は、あきる野市のゴミ回収に関わる立場として、あきる野市廃棄物減量等推進委員会の会議に参加しています。

もっと多くの方がゴミ問題に向き合い、小さな事でもできることからゴミを出さずに済む方法を考えていかないと、この問題は解決できないと思います。

自分自身もまずは、エコバックを使い必要以上の物は買わない等、心掛けるようになりました。

最後に、ゴミ回収していてゴミを回収されなかった等の苦情がよくあります。私達のミスで回収し忘れる事があり、ご迷惑をおかけしますが、炎天下の暑いなかでの作業ですと、気がぬけてしまう時もあります。私達も注意して回収を行いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。また、中には時間までに所定の場所に出していない事もあります。

必ず8時までには所定の場所にゴミを出すようよろしくお願いいたします。

## 地球温暖化に対して

若者たちの叫び「私たちの未来はどうなるの?」



毎年の「異常気象」が日常になりつつあります。台風の強大化、豪雨、水不足・・・「異常気象」は遠い世界のことでなく身近な問題となりました。

原因は、地球の温暖化といわれます。

では、私たちは、今、何ができるのでしょうか?

どんな小さなことでも、よいと思われることはひとつひとつみんなで実践していくしかありません。

ごみを減らすこともその一つ。ごみの量が減れば有毒ガスやCO<sup>2</sup>も減ります。その他、エネルギーの節約、余分な食材を買わず無駄にしないことなど・・・

市民の皆様、ご自分で工夫されたごみの減量法やエネルギー節約法など、是非「へらすぞう」にお寄せください。

みんなで「エコあきる野市」を実現させましょう!

(T・A)

## 編集後記

子ども食堂に見学に行きました。若者や大学生のボランティアが楽しく子どもたちと接している姿に感心しました。(M・T)

毎回、テーマを何にするか悩み、みんなで話し合い、見学に行ったりしながら発行にこぎつきました。(C・S)

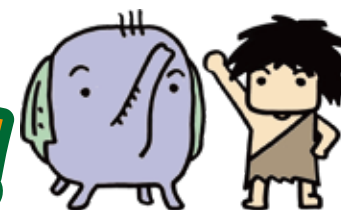
# へらすぞう

第24号 2020年2月

あきる野ごみ会議は、市民・事業者・市の3者が協力して活動している団体です。



## 食品ロスを減らすために、フードドライブを活用しよう!



あきる野市でもフードドライブを実施したよ!みんなの役に立ったかな?

### 月1回程度開催

### だれでも食堂U<sup>ウル</sup>u(御堂会館で開催)

昨年12月27日、ごみ会議メンバー5名で御堂会館で行われた「だれでも食堂U<sup>ウル</sup>u」の見学に行きました。

参加者は子ども19名、調理担当の方およそ10名に、お手伝いの大学生5名くらい。昼食まで子ども達は大学生のお兄さん達に勉強を教えてもらったり、遊んでもらったりと、とても楽しそうでした。

食事メニューはバラエティーに富んでおり、私も頂いてどれもおいしかったです。調理の際に出たごみは分別され、生ごみはスタッフで持ち帰り堆肥化しているそうです。(K・O)



### ふれあい食堂まんまる堂(五日市出張所で開催)

スタッフ3人で運営する、「ふれあい食堂まんまる堂」は2018年8月に始まりました。食堂を通じて、地域に貢献したいという思いがあったそうです。

今回寄付させていただいた食品は、フルーツポンチとして来られた方に提供されました。

食品ロスを防ぐために使い切れなかった食材は小分けにして参加者の方に持ち帰って頂いています。ごみを少なくするために、使い捨て食器を使わない、お茶などもペットボトルを利用しないなどの取組を行っています。

食堂を通じて、まんまる堂にしかない食事を食べてもらう事、子どもからお年寄りまで様々な世代の交流の場とする事を目指しているそうです。(K・K)





Q1

どんな法律なの？

## 食品ロス削減元年！食品ロス削減推進法が公布されました！

令和元年5月、食品ロス削減推進法が公布され、10月に施行されました。

日本では、年間600万トンも食品ロスがあります。これは、世界の食糧援助量の2倍の値で、国民ひとりあたりお茶碗一杯分の食品を毎日捨てている計算になります。世界では、満足に食事ができない人がいる中で、多くの食料を海外から輸入している日本がたくさんの食品を捨てているという現状を変え、食品を有効活用するために法律を作ったそうです。

今回の法律は、事業者だけでなく、国民に対しても食品ロスの削減に向けて協力をお願いする内容となっているので、日本全体で食品ロスの削減を目指すことを目標としています。

また、10月を食品ロスに対する関心を深める月とし、特に10月30日は食品ロス削減の日として、食品ロスに対する行動をするよう定めています。

この法律が出来たことを機にできることから、食品ロスの削減をしていくようにひとりひとりが行動していきましょう！

A1

日本全体で食品ロスをへらすことに取り組む法律だよ

Q2

何で法律にしないとイケないの？

A2

無駄にならないようにみんなで考えて行動できるようにするためかな！？

Q3

ぼくたちに出来ることは何かな？

A3

食べきれん分だけ買ったり、作るようにすればいいよね

## フードドライブ実施しました！

生活環境課では、今年度の新たな取り組みとしてフードドライブを実施しました。

フードドライブとは、家庭や職場で余っている食品を集めて、フードバンクと呼ばれる施設などを通して、ボランティア団体、NPOなどの団体や支援を必要とする人に受け渡す取組のことです。

10月に実施したフードドライブで寄付していただいた食品は、市内の子ども食堂やフードバンクなどに提供しました。子ども食堂では、そうめんや調味料など調理して使えるもの、フードバンクなどでは、インスタント食品などのすぐ食べられるものが喜ばれました。

今後も年2回程度実施したいと思います。実施の際に、ご家庭で賞味期限が1ヶ月以上の余った食品がありましたらご提供よろしくお願ひします。

5月11日実施



環境フェスティバルの様子

10月28日～11月1日実施



1週間でこれだけたくさんの食品を頂きました



環境フェスティバル2019で開催されました！！

1日で83.3kg集まりました。



合計120.2kgの食品が集まりました

年間600万tの食品ロス  
っていうのは、1日で10t  
トラック1700台分にも  
なるんだって。



× 毎日!

1700台